



全国に誇れる魅力ある加西市をめざして

— 中川市政の半年間 —

加西市は、財政問題をはじめ、人口減少問題、環境問題、下水道の起債償還問題など、先送りでできない数多くの難問を抱えています。「市民が主役でお客様」、「民間の知恵と活力を行政に」を基本理念に、自治体再生に取り組む中川市長。今月号では、就任半年間を振り返ってみることにしました。

健全財政は、全ての行政や施策の大前提

○特別職の報酬カット

12月議会で条例改正し、市長30%、助役20%、教育長15%それぞれカットしました。収入役廃止と合わせ、総額2,065万円の削減となりました。ちなみに市長報酬は、年間1,123万円で、時給に換算すると大抵の職員の方が高い現状です。

○市長も徴収業務

市税や国民健康保険税、公共料金などの高額滞納者宅に、市長が担当職員と一緒に向いて滞納者と面談し、納付交渉を行い、市政への理解も求めています。市民の皆さんの納税のご苦勞を全職員に自覚させることで、税金の無駄遣いをなくします。

懸案事項への対処

○教職員の交通事故裁判

中川市長が就任したのは、加西市が一番で敗れ、二審でも既に和解勧告を受けた後の最終局面でした。事態の好転は望めない中、被害者の立場や心情に配慮しつつ、市民にとって最良の選択となるよう留意しました。なお、加害者家族か

らは、裁判外で相当額の寄付を受けました。

○北条鉄道の再建

市長は、社長就任前からも連日北条鉄道に向き、職員に陣頭指揮するとともに、利用客の声も聴きながら、会社再建に向けて精力的に動いています。3月末に再建計画を発表する予定です。

市民の声を聴きながら市役所運営

○経営戦略室と加西市経営改革委員会

市役所内のタテ割り組織を横断的に束ねる経営戦略室を新設、市の重要課題に対し全庁的に取り組みます。

企業経営者や主婦などから構成される加西市経営改革委員会より、昨年末、北条鉄道再建、教育施設の建替えなどについての中間答申を受けました。今後も各方面のご意見を市政に反映していきます。

○フロアマネージャー

市民サービスの向上を図るため、1月4日から市役所1階にコンシェルジュ(案内係)を配置しました。試行期間を経て、4月以降の本格スタートを検討しています。

○市長サロンの開設

毎月第4日曜日、「アステアかさい」3階で、市民の皆さんから直接、ご意見をお聴きしています。アポイントなしで市長にお会いいただけますので、どうぞご利用ください。

○正しい情報開示

議会答弁、職員訓示、広報かさい、その他挨拶等は、全て市長が自ら考え、自分の言葉で語っています。その意図は、あいまいな内容ではなく、明確なメッセージを市民の皆さんや職員に対して発信するためです。四月からの一層の情報開示に向けてホームページのリニューアルを準備しています。

質の高いサービスを低コストで効率的に

○上下水道事業の業務委託

上下水道の窓口事務、検針業務、滞納整理などを民間委託するた

め、プロポーザル(提案)方式により業者(関電サービス)を選定しました。市役所職員が担当してきた業務を民間委託することで、人件費削減・余剰人員の転用・収納率アップなどの効果が期待できます。

○ゴミ収集・ペットボトルの売却

市長自ら、ゴミ収集業務等に従事する中で、現業の効率化に取り組んでいます。4月からは北条地区内のゴミ収集も民間委託します。

また、これまで使用済みペットボトルは回収し、指定法人へ無償で引き渡してきましたが、今後は入札処分して歳入増を図ります。

○いつでも保育

新年度から市内の1園で、朝7時から夜8時までの保育サービスを実施するとの市長方針を受け、3月議会に予算案を上げます。

全国初の取り組みで情報発信

○バイオマスタウン構想

『加西市バイオマス構想』が、昨年11月末に農水省で採択されました。これは、兵庫県内はもとより、近畿の自治体として初めてのことです。全国でも30自治体しかありません。中川市長が4年越しで温めてきたこともあって、異例の早さで



報酬の過払い分を返金する三役